

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	線形代数学第一		
英文授業科目名	Linear Algebra I		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 量子・物質工学科 システム工学科		
担当教官名	大野 真裕		
居室	東1-411		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ohno@e-one.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>各学科の専門科目を受講するにあたり，数学的なバックグラウンド（微分積分学と線形代数学）は不可欠である．線形代数学は，諸分野に現れる「線形性」という共通の考え方のもとに抽象化され，統一された体系となっている．この抽象化のおかげで，線形代数学は非常に豊かな応用をもつに至っている．</p> <p>線形代数学第一では，線形代数学における最も基本的な計算技術の習得を目的とする．具体的には，行列の演算（和，スカラー倍，積），基本変形，および行列式の計算を対象とする．基本変形の応用として，連立一次方程式の解法や逆行列の計算法を扱うが，これは線形代数学を学ぶ上で必須な技術である．また，行列式については，基本変形や展開公式を用いて自由に計算できる技術の習得が望まれる．</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
（数学B「ベクトル」，数学C「行列」）

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

【教科書等】

教科書：小林正典・寺尾宏明 共著『線形代数 講義と演習』（培風館）

参考書（上記教科書より少し高レベルで数学スタッフから推薦のあったテキストの例）

齋藤 正彦 著『線型代数入門』（東京大学出版会）

川久保 勝夫 著『線形代数学』（日本評論社）

佐竹 一郎 著『線型代数学』（裳華房）

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

行列

- ・行列の定義，いろいろな行列
- ・行列の計算
- ・行列のブロック分割

行列の簡約化と連立1次方程式

- ・簡約行列
- ・連立1次方程式と行列
- ・連立1次方程式が解をもつ条件
- ・連立1次方程式についての大事な補足
- ・正則行列

行列式

- ・行列式の定義
- ・行列式の性質と計算
- ・行展開，列展開，余因子行列
- ・いろいろな行列と行列式

空間ベクトル

- ・空間ベクトルの定義，長さ，和，スカラー倍
- ・内積，外積
- ・空間内の直線および平面

(b) 授業の進め方

授業は基本的に板書によって進められる。

(c) 授業時間外の学習について

論理的に説明されたとしても，新しい概念をすぐのみこめずに落ちこぼれてしまったり，わかったつもりが勘違いだったりすることは多々ある。しかも，そういった箇所は個人差がある。こういった障害を乗り越えるためにも，土日，連休を利用して，あらかじめ教科書をよんでおくことと強く勧める。こうして準備して講義に臨み，疑問が氷解したとしても，放っておくと，鍵となる視点や考え方を忘れてしまうことがあるので，復習したり，教科書の演習問題等を実際に解いてみる作業が求められる。

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

行列の基本変形(簡約化)を利用して連立1次方程式が解けることは必須である。さらに、逆行列、行列式の計算法が理解されていることを合格の基準とする。

試験の出来に、出席状況、レポートの出来等を加味して総合的に評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

随時受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

一所懸命勉強しよう。

### 【その他】

なし